

(77) 栃木県粟野町の鷹ノ巣鉾山跡 (道下坑、峰山坑)

参考文献(1)を手引きに、栃木県粟野町の鷹ノ巣鉾山の探査を行った。この鉾山も足尾山地に沢山あるマンガン鉾山の1つである。現地への道順は次の通りである。鹿沼方面からは、足尾に繋がっている15号線を、粕尾峠に向かって進んでいく。道下坑へ行くならば、発光路地区を通り過ぎ、周りを良く見て後掲の写真1の所に車を駐車する。峰山坑へ行くならば、発光路地区中の後掲の写真5のあたりが入口となる。当初、参考文献(2)を手引きにした。この本は、2008年の発行年で、本中での現地案内図は、最新の地形図を模写したものであった。しかし、数回現地を探査したが、全くの空振りに終わった。そう言えば、かつて、この本に従って、湯西川近傍の銅蔵鉾山を探査したことを思い出した。案内図中の銅蔵鉾山のマーキングの位置が、数kmもずれていたのである。真の場所は、現地で散策していたおばさん達に教えてもらったのである。それではと考え直し、参考文献(1)に従うことにした。が、少なくとも40年以上前の探査記である。粕尾峠に向かう道はかつては細い林道であったであろう。が、現在では、道の拡幅、直線化が行われている。本中の案内図と現在の現地の状況は、似ても似つかないものであった。文献では道下坑へ行くのには、沢に新旧2つの橋が隣り合って架かっている所の先であると図解していた。幾つかの沢を探したが、2つの橋のあった痕跡を見つけることが出来なかった。が、ついに見つけた。道の拡幅にともない、2つの橋は連結され1つの幅の広い橋になっていたのである。参考文献(1)に従って、道下坑を見つけることが出来た。この鉾山跡だけではないが、山中には地形図に記されていない林道が、網の目のように延びている場合が多い。本探査記を参考として、探査を行う場合には、周りの状況もよく観察しながら、探査を行うことを勧める。

探査日 2011年3月、その他

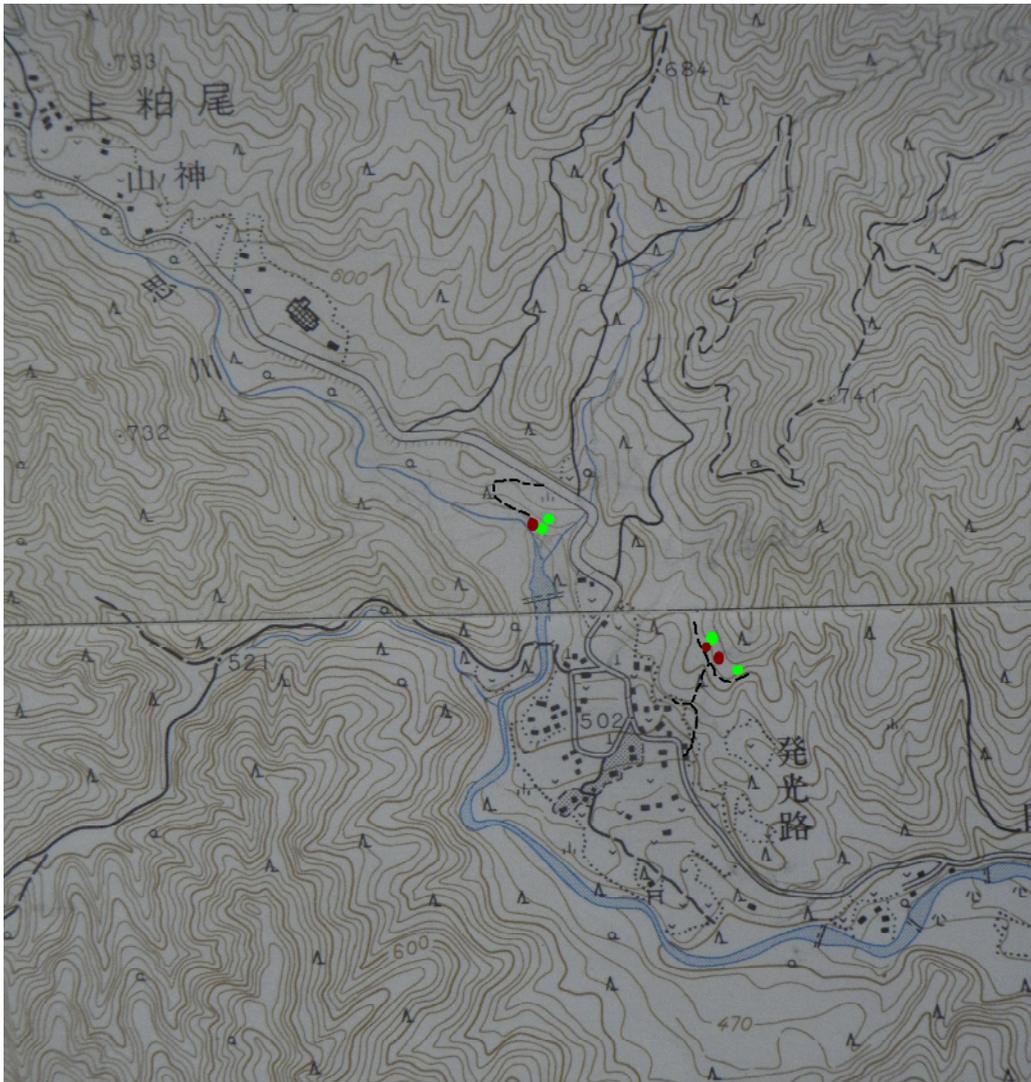


図1 国土地理院2万5千分の1地形図「中粕尾+古峰原」より。黄緑丸は坑口跡。茶色はズリ。川筋の付近が道下坑跡。その右下の山中が峰山坑跡

鉾山跡写真

道下坑



写真1 沢の手前のこの所が広いので駐車できる。沢には1つの橋が架かっているが、近づいて良く見ると2つの橋が連結されているのがわかる。



写真2 橋を渡って約100m先。道路の左側前方に、粕尾川に降りていける林道がある。下って行くと、その内に大きくUターンし、川を右下に見ながら進んでいくことになる。



写真3 左側前方が道下坑跡である。右側前方の白いところは粕尾川。坑道跡は川縁にある。



写真4 写真3の左前方に進んでいく。坑口跡は少なくとも4つあった。右側の坑口はしっかりしており、内部も綺麗であった。足元はズリである。ピンク、茶色、黒色の層からなる多色の綺麗なマンガン鉱を数個採集した。

峰山坑



写真5 峰山坑への入口となる。中央前方の林の中に峰山鉱がある。正面の神社の道を横切って林道にはいることができる。



写真6 林道にはいると直ぐに、林道左側に社があった。



写真7 林道を進んでいくと、他の林道に交差する。右側上方に進んでいく。



写真8 林道を更に進んでいくと、また他の林道に交差する。左側へ、100mから200m先にすすむと、右側斜面に、ズリと、坑口跡がある。写真9を参照。
右側に、50mから100m進むと、左手斜面に坑口跡がある。写真10参照。



写真9 坑口跡である。峰山坑跡か。



写真 1 0 これも坑口跡である。

採集鉱物写真

道下坑跡では、黒っぽく重そうな石をたたき割ると、ピンク色の断面の石を、今でも容易に採集できる。幾つかを採集した。それ程の物ではないので写真は未掲載。

峰山鉱では、ズリはあるのであるが、めばしい標本は採集できなかった。

参考文献(3)に、「宝沢鉱山」の調査報告の項がある。「発光路部落より西方約1km、粕尾川北岸にある。」との記述があった。この探査記事で紹介している道下坑の少し上流の当たりのようである。粕尾川北岸のそのあたりを探査したが、何の鉱山跡の形跡も見つけることができなかった。参考文献には、「宝沢鉱山地質鉱床図」が掲載されていた。図2として、それを複写掲載しておく。A坑、B坑、C坑の配置と向きは写真4の坑口跡と、良く一致しているように思えた。どうも宝沢鉱山=道下坑と思われる。では通洞坑は?。探査現場を道下坑として、再調査を行った。図2中に記されている位置で、閉塞しかかっている通洞坑を確認した。写真11である。宝沢鉱山は鷹ノ巣鉱山道下坑と同じであると確信した。

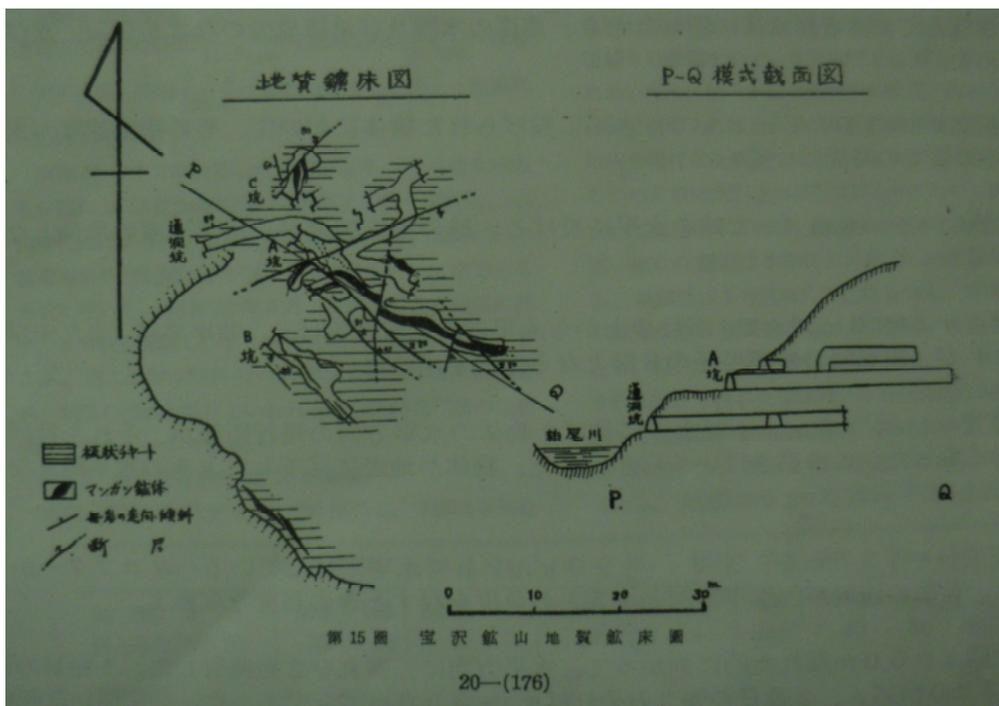


図2 宝沢鉱山地質鉱床図。参考文献(3)より。



写真 1 1 閉塞しかかっている通洞坑跡

参考文献

- (1) 「 鉱物採集の旅 関東地方とその周辺 」、桜井、加藤共著、築地書館、1972年。
- (2) 「 鉱物観察ガイド 」松原聡編著、東海大学出版、2008年。
- (3) 「 栃木県鹿沼地方マンガン鉱床調査報告 (昭和28年2月～3月調査) 」宮本弘道、高瀬博、丸山修司、地質調査所月報 (第5巻、第4号) 163頁～181頁。